

# 平成26年 火災・救急・救助統計



瀬戸市消防本部

# 火災

出火件数 43 件(前年比14件減)  
 死者 1 人(前年比 0人)  
 負傷者 6 人(前年比 2人減)



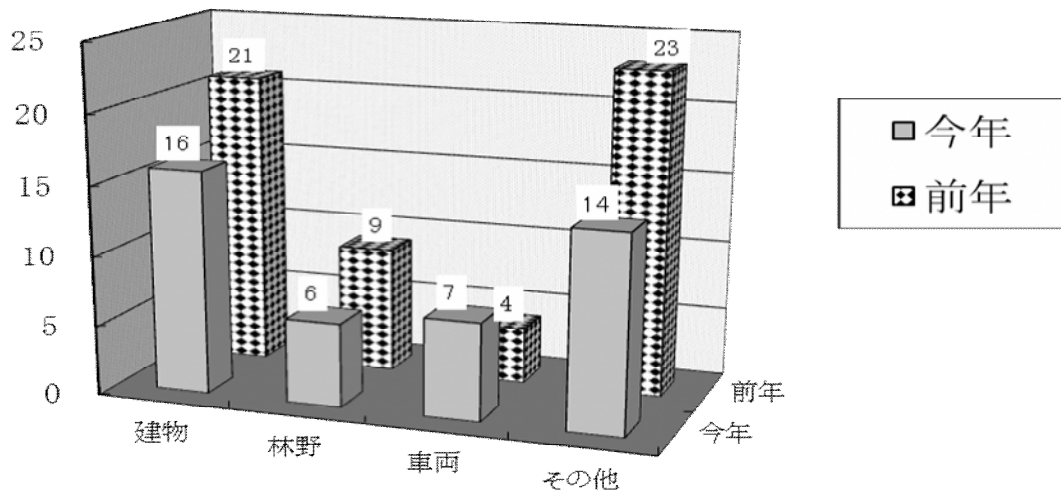
## 1 火災概要

出火件数は43件で、前年に比べ14件減少し、現在の統計を取り始めて最も少ない出火件数となりました。

火災種別では、「建物火災」が16件で最も多く、全体の37.2%を占め、次いで「その他火災」が14件、「車両火災」が7件、「林野火災」が6件という状況でした。

前年に比べ「車両火災」が3件増加しましたが、「建物火災」は5件、「林野火災」は3件、「その他火災」は9件それぞれ減少しました。

火災による死傷者は、工場の爆発火災による死者が1名、住宅火災で煙を吸うなどして負傷者が6名発生しました。



## 火災発生状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数	焼損面積		損害額 (千円)	死傷者		
	計	建物	(住宅)	林野	車両	その他		建物 m <sup>2</sup>	林野 a		死者	(住宅)	負傷者
1月	3	0		2	0	1	0	0	1	0	0		0
2月	5	2	(2)	1	0	2	2	237	1	12,683	0		0
3月	5	2	(2)	0	1	2	2	50	0	9,479	0		2
4月	10	3	(2)	2	1	4	3	67	13	44,266	1		0
5月	5	3	(2)	0	2	0	4	301	0	21,179	0		2
6月	5	2	(2)	0	2	1	8	118	0	9,064	0		2
7月	3	2	(0)	1	0	0	2	0	0	237	0		0
8月	2	0		0	0	2	0	0	0	0	0		0
9月	2	1	(1)	0	0	1	1	0	0	0	0		0
10月	2	1	(1)	0	1	0	1	0	0	434	0		0
11月	1	0		0	0	1	0	0	0	0	0		0
12月	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0
計	43	16	(12)	6	7	14	23	773	15	97,342	1		6
平成25年	57	21	(13)	9	4	23	23	498	79	43,391	1	(1)	8

## 2 焼 損 状 況

建 物	773	m <sup>2</sup> (前年比 275m <sup>2</sup> 増)
林 野	15	a(前年比 64a減)
焼損棟数	23	棟(前年比 0棟)



林野焼損面積は前年に比べ64a減少しましたが、建物焼損面積は275m<sup>2</sup>増加しました。

## 3 損 害 額

総 額	97,342	千円(前年比 53,951千円増)
-----	--------	-------------------

建物焼損面積が増加したことなどから、損害額は前年に比べ53,951千円増加しました。

## 4 連 区 別 火 災 発 生 状 況

火災発生状況を連区別で見ると、水野連区が16件で最も多く、次いで水南連区が5件、萩山台連区が3件の順になっています。無火災連区は、古瀬戸連区、祖母懐連区、陶原連区、長根連区及び西陵連区の5連区でした。

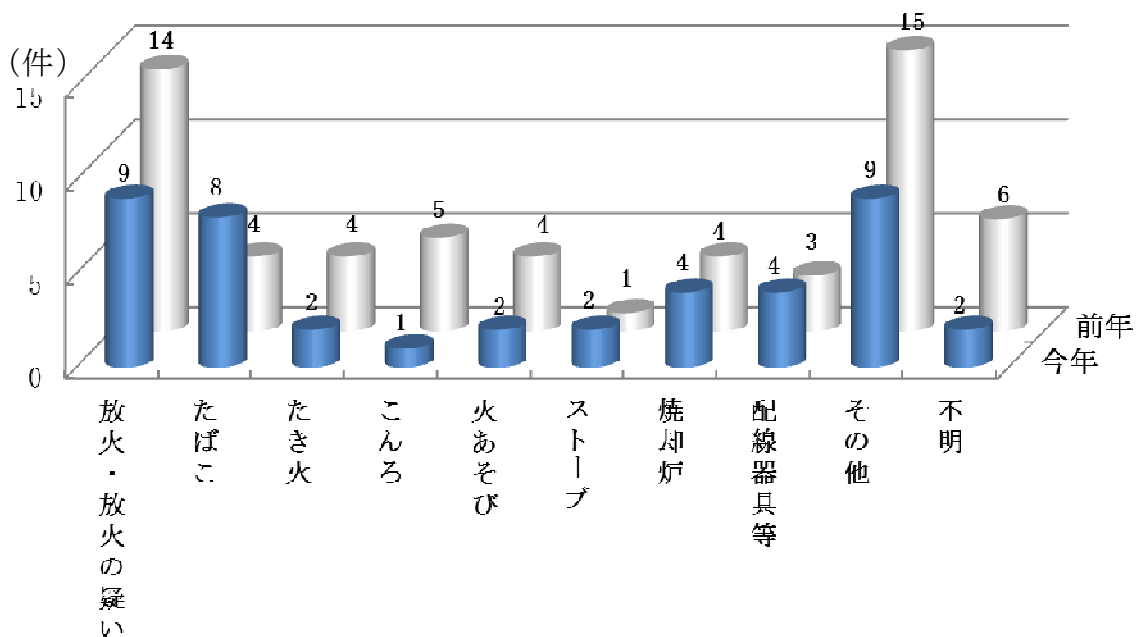
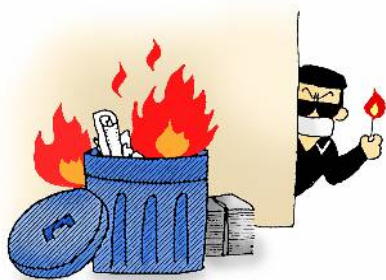
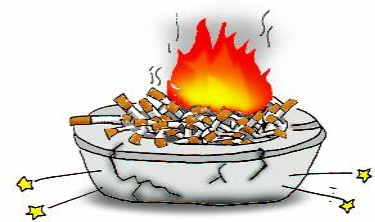
### 連 区 別 火 災 発 生 状 況

連区別 区分	計	道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
建 物	16	1	1	0	1	0	0	0	1	3	3	0	0	2	1	1	0	0	1	0	1
林 野	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
車 両	7	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	14	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0
計	43	2	1	0	2	0	0	0	2	5	16	0	1	3	1	2	1	2	1	2	2
平成25年	57	3	0	0	3	0	1	0	3	3	14	1	2	2	1	8	3	4	2	5	2

【備考】原山町は平成26年4月から陶原連区で計上

## 5 出火原因

1 位	放火・放火の疑い	9件(20.9%)
2 位	たばこ	8件(18.6%)
3 位	焼却炉・配線器具等	各4件(9.3%)



《出火原因の第1位は「放火・放火の疑い」》

出火原因別にみると、「放火・放火の疑い」が9件で最も多く、次いで「たばこ」が8件、「焼却炉」「配線器具等」がそれぞれ4件という状況でした。

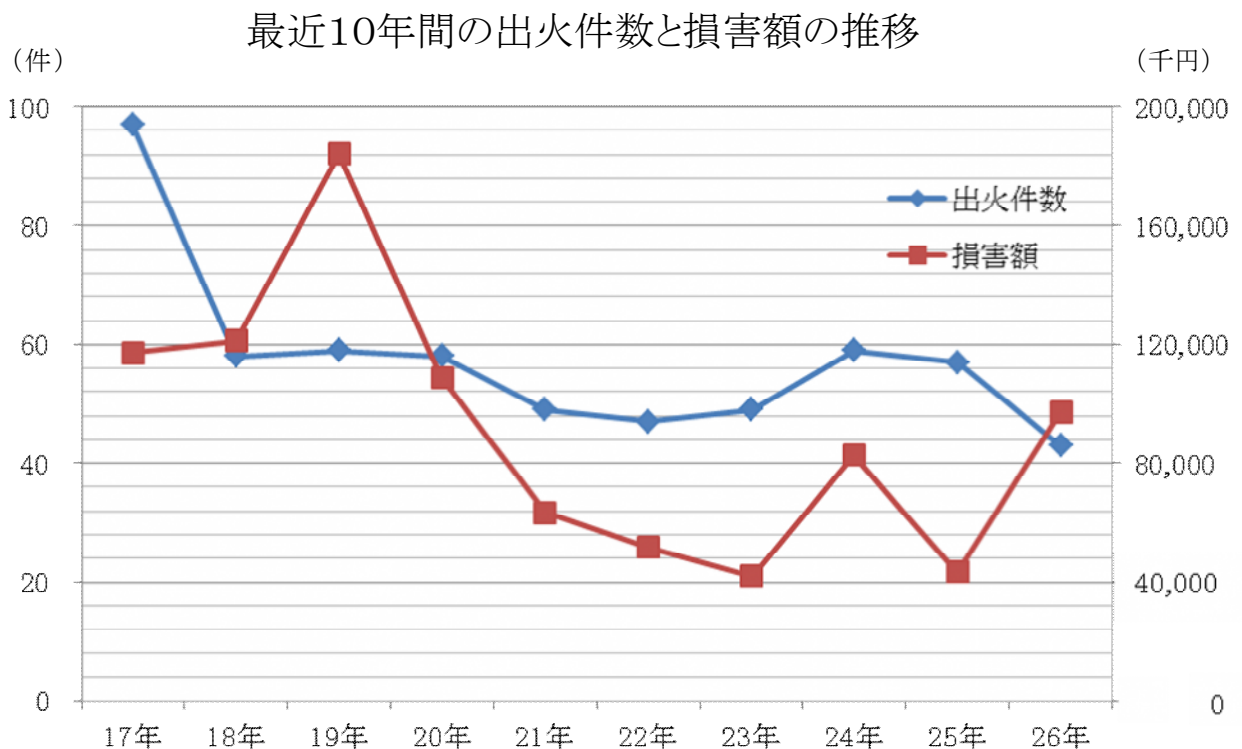
前年に比べ「放火・放火の疑い」は5件減少しましたが、「たばこ」は4件増加しました。

「配線器具等」は住宅火災の原因のトップで、タコ足配線などが原因で火災に至ったものです。また、住宅火災では「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」のほか、「蚊取り線香」が原因の火災も発生しました。

## 6 火災発生状況の推移

最近10年間の火災発生状況と比較すると、平成26年は「建物火災」が8件、「その他の火災」が5件それぞれ減少しましたが、損害額は平均値を上回る結果となりました。

年別	区分	出火件数				損害額 (千円)	死傷者		
	計	建物	林野	車両	その他		死者	負傷者	
平成17年		97	40	10	16	31	117,192	0	12
平成18年		58	34	4	9	11	121,168	3	11
平成19年		59	25	10	8	16	184,095	1	6
平成20年		58	26	7	7	18	108,733	2	6
平成21年		49	18	10	3	18	63,478	2	10
平成22年		47	21	9	2	15	51,715	3	3
平成23年		49	21	8	5	15	42,041	3	6
平成24年		59	19	6	9	25	82,769	2	5
平成25年		57	21	9	4	23	43,391	1	8
平成26年		43	16	6	7	14	97,342	1	6
平均		58	24	8	7	19	91,192	2	7



# 救急

救急出動件数 5,419 件(前年比 139件増)

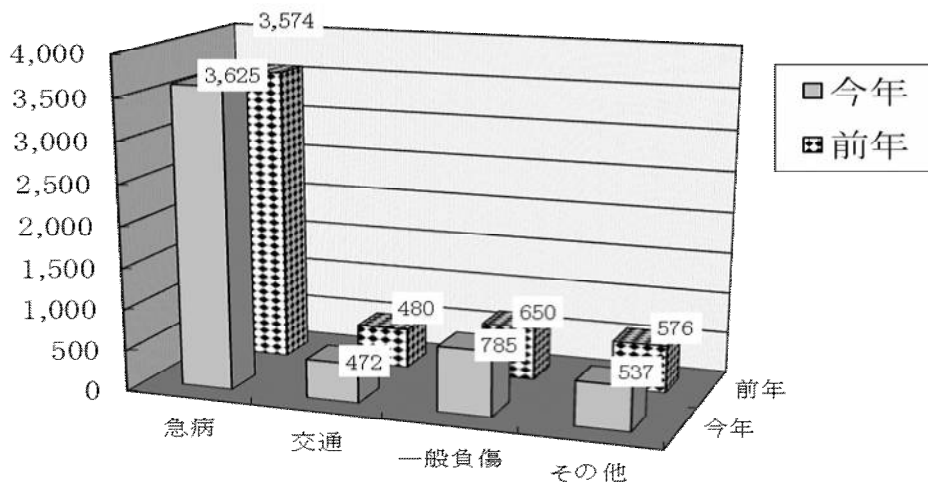
救急搬送人員 4,996 人(前年比 187人増)



## 1 救急概要

救急出動件数は5,419件で、前年に比べ139件増加し、過去最多となりました。5千件を超えたのは4年連続で、月平均452件、一日平均15件という状況でした。事故種別では、「急病」が3,625件で全体の66.9%を占め、次いで「一般負傷」が785件(14.5%)、「交通事故」が472件(8.7%)という状況でした。

救急搬送人員は4,996人で、前年に比べ187人増加しました。



## 月別救急出動状況

区分 月別	計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1月	483	0	0	0	33	1	1	70	0	6	339	33
2月	442	0	0	0	40	4	2	67	0	0	300	29
3月	435	2	0	0	42	4	3	62	0	3	287	32
4月	384	1	0	0	27	3	0	54	1	7	265	26
5月	457	1	0	0	50	2	3	64	3	2	291	41
6月	416	1	0	0	48	3	1	60	0	2	278	23
7月	481	0	0	0	40	7	3	64	3	3	325	36
8月	448	0	0	0	31	2	6	58	1	2	303	45
9月	433	0	0	0	36	3	4	71	3	1	285	30
10月	448	0	0	0	32	1	5	74	1	5	294	36
11月	427	0	0	0	45	2	4	56	1	3	286	30
12月	565	0	0	0	48	3	3	85	3	2	372	49
計	5,419 (4,996)	5 (6)	0 (0)	0 (0)	472 (477)	35 (32)	35 (34)	785 (760)	16 (15)	36 (18)	3,625 (3,391)	410 (263)
平成25年	5,280 (4,809)	7 (10)	0 (0)	0 (0)	480 (482)	39 (33)	46 (43)	650 (634)	21 (20)	51 (25)	3,574 (3,290)	412 (272)

【備考】( )内は、救急搬送人員を示す。

## 2 連区別救急搬送人員

区分	急病	一般負傷	交通事故	その他	合計
道 泉	129	32	9	3	173
深 川	99	31	10	7	147
古瀬戸	107	34	13	5	159
東 明	79	15	12	4	110
祖母懐	90	26	7	5	128
陶 原	211	38	27	29	305
長 根	280	55	63	27	425
效 範	453	76	46	66	641
水 南	249	50	45	62	406
水 野	249	43	36	24	352
西 陵	124	49	6	5	184
原山台	178	33	6	13	230
萩山台	116	16	2	1	135
八幡台	122	32	3	3	160
品 野	114	39	25	16	194
下品野	196	38	10	10	254
山 口	192	36	56	49	333
本 地	159	46	34	22	261
菱 野	94	20	36	6	156
新 郷	141	49	18	10	218
管区外	9	2	13	1	25
合 計	3,391	760	477	368	4,996

【備考】 1 原山町は平成26年4月から陶原連区で計上

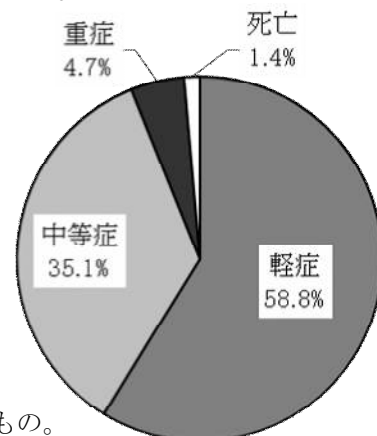
2 「その他」とは、「急病」、「一般負傷」及び「交通事故」以外の事故種別をいう。

## 3 傷病程度別搬送人員

救急搬送人員4,996人のうち、死亡、重症及び中等症の傷病者の割合は全体の41.2%、軽症の傷病者は2,939人(58.8%)でした。

また、男女別の構成比率は、男性52.9%、女性47.1%でした。

程度別 \ 性別	男 性	女 性	合 計
死 亡	40	30	70
重 症	141	95	236
中等症	942	809	1,751
軽 症	1,518	1,421	2,939
合 計	2,641	2,355	4,996



【備考】 1 死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。

2 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

3 中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のもの。

4 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないもの。

## 4 年齢区分別搬送人員

年齢区分別の搬送人員をみると、高齢者が3,090人で全体の61.9%(前年比166人増)を占めています。また、事故種別でみると、「急病」は3,391人で、そのうち高齢者が2,281人と急病全体の67.2%を占めています。

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
新生児 (構成比:%)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	10 (2.7)	11 (0.2)
乳幼児 (構成比:%)	148 (4.4)	12 (2.5)	58 (7.6)	8 (2.2)	226 (4.5)
少年 (構成比:%)	70 (2.1)	54 (11.3)	44 (5.8)	25 (6.8)	193 (3.9)
成人 (構成比:%)	891 (26.3)	310 (65.0)	148 (19.5)	127 (34.5)	1,476 (29.5)
高齢者 (構成比:%)	2,281 (67.2)	101 (21.2)	510 (67.1)	198 (53.8)	3,090 (61.9)
合計 (構成比:%)	3,391 (100.0)	477 (100.0)	760 (100.0)	368 (100.0)	4,996 (100.0)

【備考】年齢区分は次によっている。

- (1) 新生児 生後28日未満の者 (2) 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者  
 (3) 少年 満7歳以上満18歳未満の者 (4) 成人 満18歳以上満65歳未満の者  
 (5) 高齢者 満65歳以上の者

## 5 救命率の推移

(%)

区分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
瀬戸市	0	0	55.6	40	50
愛知県	26.8	27.9	28.6	29.9	
全国	20.4	20.8	21.5		

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②AEDが使用できる心電図波形(VF・VT)である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 平成25年中の全国及び平成26年中の愛知県・全国の「救命率」は平成27年1月現在未発表

## 6 バイスタンダーCPR実施状況

(%)

項目	平成22年			平成23年			平成24年			平成25年			平成26年			
	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	発生 件数	実施 件数	実施率	
目撃	あり	45	34	75.6	43	28	65.1	47	25	53.2	52	37	71.2	41	26	63.4
	なし	65	44	67.7	86	59	68.6	82	58	70.7	73	57	78.1	78	59	75.6
	合計	110	78	70.9	129	87	67.4	129	83	64.3	125	94	75.2	119	85	71.4

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。



## 7 救急出動件数の推移

最近10年間をみると、救急出動件数は平成17年の4,733件に対し、平成26年には5,419件と686件(14.5%)増加しました。また、平成26年の事故種別を10年間の平均値と比較すると、「労働災害」、「加害」、「自損行為」等が減少した一方で、「急病」が388件、「一般負傷」が157件それぞれ増加しました。

### 最近10年間の救急出動状況

区分 年別	計	対前年 増加率 (%)	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成17年	4,733	8.0	10	0	0	524	51	25	581	24	46	3,108	364
平成18年	4,457	▲ 5.8	11	0	0	507	42	41	601	27	43	2,880	305
平成19年	4,717	5.8	9	0	0	503	40	27	575	25	68	3,149	321
平成20年	4,464	▲ 5.4	9	0	0	465	48	30	577	22	53	2,981	279
平成21年	4,325	▲ 3.1	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271
平成22年	4,772	10.3	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348
平成23年	5,212	9.2	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371
平成24年	5,192	▲ 0.4	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417
平成25年	5,280	1.7	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412
平成26年	5,419	2.6	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410

▲は減を示す

平均	4,857	1.4	7	0	0	478	45	36	628	25	50	3,237	350
----	-------	-----	---	---	---	-----	----	----	-----	----	----	-------	-----

### 最近10年間の救急出動件数及び現場・病院到着平均所要時間の推移



# 救助

救助出動件数 71 件  
 (前年比 4件増)  
 救助人員 30 人  
 (前年比 3人減)



## 1 救助概要

救助出動件数は71件で、このうち、救助活動を実施した件数は29件、救助人員は30名でした。

事故種別でみると、「交通事故」が30件で最も多く全体の42.3%を占め、次いで「建物等による事故」が23件(32.4%)という状況でした。前年に比べ「建物等による事故」が2件、「その他の救助」が6件それぞれ増加しました。

「その他の救助」は、転落事故や車内閉じ込めなどによる救助要請でした。

### 月別救助件数

区分 月別	計	火災	交通事故	水難事故	自然風雨災害等	よる機械に る事故	よ建物事等に	酸ガス事及び	破裂事故	その他の
1月	11 (6)	0	3 (0)	0	0	0	8 (6)	0	0	0
2月	4 (1)	0	4 (1)	0	0	0	0	0	0	0
3月	6 (4)	0	3 (2)	0	0	0	1 (0)	0	0	2 (2)
4月	6 (1)	0	2 (0)	0	0	0	4 (1)	0	0	0
5月	4 (1)	0	1 (0)	0	0	0	0	0	0	3 (1)
6月	2 (0)	0	0	0	0	0	1 (0)	0	0	1 (0)
7月	5 (2)	0	5 (2)	0	0	0	0	0	0	0
8月	2 (1)	0	1 (1)	0	0	0	0	0	0	1 (0)
9月	5 (3)	0	1 (1)	0	0	0	1 (0)	0	0	3 (2)
10月	8 (5)	0	2 (1)	0	0	1 (1)	3 (1)	0	0	2 (2)
11月	6 (1)	0	2 (0)	0	0	0	2 (0)	0	0	2 (1)
12月	12 (4)	0	6 (0)	0	0	0	3 (2)	0	0	3 (2)
計	71 (29)	0 (0)	30 (8)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	23 (10)	0 (0)	0 (0)	17 (10)
救助人員	30	0	9	0	0	1	10	0	0	10
平成25年	67 (30)	2 (2)	30 (10)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	21 (14)	1 (0)	0 (0)	11 (2)
救助人員	33	3	12	1	0	1	14	0	0	2

【備考】( )内は、救助活動件数を示す。

## 2 連区別救助出動件数

連区名	計	道泉	深川	古瀬戸	東明	祖母懐	陶原	長根	效範	水南	水野	西陵	原山台	萩山台	八幡台	品野	下品野	山口	本地	菱野	新郷	管外
出動件数	71	4	2	3	1	0	7	5	2	7	7	1	2	0	2	8	2	6	4	2	5	1

【備考】原山町は平成26年4月から陶原連区で計上

## 3 救助出動件数の推移

最近10年間をみると、救助出動件数は平成23年から4年連続で60件を超えており、平成24年及び平成26年の救助出動件数は最も多い71件でした。

また、平成26年の事故種別を10年間の平均値と比較すると、「建物等による事故」が10件、「交通事故」が4件、「その他の事故」が5件それぞれ増加しました。

年別	区分	計	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等 による事故	ガス 事故及び 酸欠	破裂 事故	その他 の事故
平成17年		39	0	25	0	0	1	6	0	0	7
平成18年		53	2	37	0	0	1	7	0	0	6
平成19年		42	0	25	0	0	3	5	0	0	9
平成20年		51	3	20	0	0	0	14	1	0	13
平成21年		47	0	28	0	0	1	9	1	0	8
平成22年		48	1	19	2	0	2	10	1	0	13
平成23年		62	1	22	2	0	8	16	0	0	13
平成24年		71	2	22	1	0	4	23	0	0	19
平成25年		67	2	30	1	0	1	21	1	0	11
平成26年		71	0	30	0	0	1	23	0	0	17
平均		55	1	26	1	0	2	13	0	0	12

《平成26年度全国统一防火標語》

もういいかい  
火を消すまでは  
まあだだよ



平成26年火災・救急・救助統計

編集 瀬戸市消防本部 消防課  
発行 平成27年1月

〒489-0983 瀬戸市苗場町101  
TEL 0561-85-0479  
FAX 0561-21-6605

U R L ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/syoubou-kyuukyuu/>  
E-mail ▶ [shobohonbu@city.seto.lg.jp](mailto:shobohonbu@city.seto.lg.jp)